

ヨーロッパ版画との出会い History of Prints in Europe

報道用資料
2006年8月

- 会 期 : 2006年10月28日(土)～12月24日(日)
 休 館 日 : 月曜日、祝日の翌日(11月24日(金))
 開館時間 : 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 観 覧 料 : 一般250(150)円 20歳未満・学生150(100)円 ()内は20名以上の団体料金です。
 65歳以上の方、高校生以下の方、障害者の方は無料です。
 会 場 : 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1 tel.0467-22-7718
 主 催 : 神奈川県立近代美術館

ヨーロッパでは、14世紀末頃に宗教的主題を描くものとして、あるいは遊戯用カルタの絵柄として木版が登場して以来、エッチング、エンブレイヴィング、メゾチント、アクアチントなどの銅板、あるいはリトグラフ、シルクスクリーン、リノカットなど、さまざまな技法を発展させてきました。

例えばドイツ美術の近代の幕開けを緻密な木版画で示したアルブレヒト・デューラー。あるいは《戦争の惨禍》により戦争の残虐性と横暴をエッチングで克明に描出し緊密な画面を作り上げたジャック・カロ。ダンテらの詩文に想を得てエンブレイヴィングにより独自のイメージを象徴的に表現したウィリアム・ブレイク。そして20世紀のキリコやエルンストなどのシュルレアリスムの画家たちに強い影響を与えたといわれるマックス・クリンガーなど、こうしたさまざまな版画技法の発展を背景に、ヨーロッパでは多くの優れた画家たちが版画に取り組みました。しかも彼らの版画は油彩画の副次的なものとしてではなく、いずれも自立した作品として呈示されています。

本展では、当館コレクションの中から、その他にブリューゲル、ティエポロ、マネなど、16作家の選りすぐった作品約70点により、ヨーロッパ版画の多様性を概観しながら、人々の生活に身近なものとして存在してきた版画の魅力を紹介いたします。

■ 柄澤齊氏によるアーティスト・トーク

鎌倉館で同時開催中の「イメージの迷宮に棲む 柄澤齊展 版画、オブジェ、水彩、本 1971-2006」(10月28日[土]～12月24日[日])の版画家・柄澤齊氏によるヨーロッパ版画についてのアーティスト・トークを鎌倉別館にて開催いたします。

日時:12月3日[日] 14:00～

会場:神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

参加費:無料(展覧会の観覧券は別途購入願います)

*申込み不要(当日、鎌倉別館展示室内にお集まりください)

■ 学芸員によるギャラリー・トーク

日時:12月15日[金] 14:00～

会場:神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

参加費:無料(展覧会の観覧券は別途購入願います)

*申込み不要(当日、鎌倉別館展示室内にお集まりください)



アルブレヒト・デューラー
《ヨハネ黙示録》のうち《龍と闘う大天使ミカエル》1498年

美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。

http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2006r_europe.pdf

お問い合わせ先: 神奈川県立近代美術館 鎌倉 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53

tel.0467-22-5000 / fax.0467-23-2464 広報担当:平井 展覧会担当:是枝

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>